

臼田まちづくり協議会 講演会内容

「希望をもって、豊かに安心して、暮らせるまちづくり」

期日：平成23年8月20日（土）

時間：午後1時30分から午後3時00分

場所：佐久市コスモホール

講師：エーザイ株式会社 理事 知創部長

（臼田まちづくり協議会運営委員）

高山 千弘 氏

1 地域社会の概念

2 まちづくりの実践例

（1）（株）まちづくり三鷹（東京都三鷹市）

- ・三鷹市の第三セクターとして設立。
- ・「三鷹市と株式会社まちづくり三鷹との協働に関する条例」に基づき、市内のまちづくりを総合的に支援することを目的に、行政とともに、市民、地域の諸団体、企業、大学・研究機関等と連携して多種多様な事業を展開している。

（2）株式会社いろどり（徳島県上勝町）

- ・上勝町の第三セクターとして設立。
- ・1981年には局地的な異常寒波が上勝を襲い、ほとんどのみかんが枯死。一年間でみかんの売上は約半分となった。
町の半数近くを占めるお年寄りが活躍できるビジネスはないかと模索したところ、“つまものビジネス”＝“葉っぱビジネス”が1987年にスタートした。
葉っぱビジネスのポイントは、軽量で綺麗であり、女性や高齢者でも取り組める商材であること。現在の年商は2億6000万円。中には、年収1000万円を稼ぐおばあちゃんもいる。

3 認知症になっても安心して暮らせる「まちづくり」

(1) 大阪市東成区

- ・ 認知症患者の不安に触れ、想いを持って活動し、地域から共感を得た事例

(2) 山形県米沢市

- ・ フォーラムの成果に疑問を持ち、自らの活動で新たなコミュニティ・ネットワークを創出した事例

(3) 神奈川県横浜市保土ヶ谷区・金沢区など

- ・ 医療、介護、福祉の会から、商店街を巻き込んだ活動事例

4. その他のまちづくり実践例

NPOアサザ基金（茨城県霞ヶ浦地区）

- ・ アサザプロジェクト

霞ヶ浦再生を目指して活動するプロジェクト。

「100年後に野生復帰したトキが湖面に舞う」そのような霞ヶ浦・北浦流域の自然と人間の共生の未来を目標とし「学校ビオトープ」、「里山づくりと粗朶消波施設設置計画」、「コウノトリ夢ネット」、「地元の酒造会社と連携した水源地保全のための地酒づくり」など活動している。

5 質疑応答

以上